

## 新任医師の紹介



### 副院長

**浦部 由利**

うらべ よしとし

2020年4月より赴任してまいりました。25年間北九州市立医療センターで勤務していました。狭心症、心筋梗塞症や心不全などの心臓病に、大動脈の病気や高血圧などを主に診察させていただく循環器内科を専門にしています。また、脈が著しく少なくなる病気ではペースメーカーの植え込みも行います。地域の皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思っております。よろしくお願いいたします。



### 脳神経外科

**北川 雄大**

きたがわ たけひろ

はじめまして。4月からの脳神経外科に赴任となりました北川雄大です。私は、産業医科大学医学部を卒業後、産業医科大学病院、北九州総合病院、済生会山口総合病院（山口県山口市）、脳神経センター大田記念病院（広島県福山市）などで、脳神経外科および脊椎脊髄外科の研鑽を行ってきました。趣味はランニングと言いたいところですが、なかなか時間がとれないのが悩みです。丁寧な診療を行っていききたいと思います。これからもよろしくお願いいたします。



### 整形外科

**齊藤 勝義**

さいとう まさよし

出身は北九州市で、地元の病院で働けることを大変嬉しく思っております。微力ながら頑張りますので、よろしくお願いいたします。

はじめまして。4月から八幡病院整形外科に赴任しました齊藤と申します。



### 外科

**田嶋 健秀**

たじま たけひで

4月より八幡病院外科で勤務させて頂いております。できるだけ丁寧な説明を心がけています。患者さんと同じ目線で、一緒に治療にあたるような医療を目指しています。八幡地区のみなさんに、安心して医療を受けて頂けるよう力を尽くしてまいります。よろしくお願いいたします。

4月より八幡病院外科で勤務させて頂いております。できるだけ丁寧な説明を心がけています。患者さんと



### 内科

**磯嶋 佑**

いそしま ゆう

本年度より内科として勤務させていただくことになりました磯嶋佑と申します。皆様のお力になれますよう努めてまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。



### 小児科

**藤崎 徹**

ふじさき とおる

医師になって8年目になりました。小児科に携わるようになって5年が経ちますが、まだまだ未熟なところだらけです。未熟なりに患者さん一人一人と向き合った医療を行っていききたいと思います。本年度から八幡病院のスタッフになり、責任感を持ってより一層精進していこうと思っております。よろしくお願いいたします。

医師になって8年目になりました。小児科に携わるようになって5年が経ちますが、まだ



## ICU(集中治療室)での取り組み



### 「早期離床リハビリテーション」

ICU看護師 行比 知子

ICU(集中治療室)入室後の重症患者さんは、速やかに筋タンパク合成機能低下と筋タンパク分解が亢進し、筋肉の消耗・萎縮が進行します。さらに、ベッド上で寝たきりの時間が長く続くと、不動による筋萎縮も加わってしまい、その結果、ICU-AW(ICU獲得性筋力低下)と呼ばれる急性の全身性筋力低下を合併してしまいます。このような状態になってしまうのは25～100%と報告されており、頻度の高いものです。その影響は、人工呼吸器の離脱やICU在院日数・在院死亡率といった短期的なものだけでなく、たとえば5年後においても運動機能の低下やQOL(生活の質)低下・医療費増加といった問題が続くこととなります。つまりICUでは、救命はもとより、その後「いかに後遺症や再増悪を防ぎ社会復帰していただくか」という観点で患者さんの看護を行うことが重要となります。

その第一歩として、早期離床リハビリテーションが注目されるようになりました。当院では、平成30年6月より、ICUでの早期離床リハビリテーションの導入を開始しています。医師・看護師・理学療法士・作業療法士・臨床工学技士などの多職種がチームとなり、患者さんの状態を把握・評価した上で、支援方法について検討・計画を作成し、入室翌日より離床への取り組みを開始しています。患者さんの安全・安楽を常に念頭に置いてリハビリを毎日実施し、早期離床に向けて日々チーム一丸となって頑張っています。



リハビリテーション技術課 理学療法士 砂山 明生

当院のICU(集中治療室)では、医師や看護師、リハビリスタッフ等が連携し、入室後早期に離床などのリハビリテーションを提供するための取り組みを行っています。

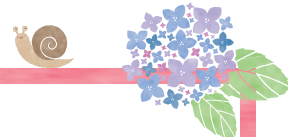
対象となる患者さんは点滴や酸素投与のみでなく、ドレーンカテーテルや人工呼吸器等、様々な医療機器や治療を要する方々です。

これらの患者さんに対して、ベッド上での長期臥床による深部静脈血栓症(エコノミー症候群といわれるもの)・褥瘡(床ずれ)・関節拘縮(関節が固くなること)・肺炎・廃用(徐々に全身機能が低下すること)などの合併症を予防することを目的に、ベッド上での関節可動域訓練や呼吸機能訓練、座位→起立→歩行訓練等(離床)を実施しています。

また、早期離床リハビリテーションは機能予後が良好で再発リスクも少なく、入院期間の短縮や退院時の歩行レベルも良好であったという報告(脳卒中に関して)や人工呼吸器装着期間が短縮されるという報告(呼吸器疾患に関して)もあります。今後も引き続きチームの一員として、患者さんの社会復帰への一助となれるよう安心・安全なリハビリテーションを提供できるよう取り組んでいきたいと考えています。



## DMAT活動報告



看護師 野田 知宏

1月17日(金)北九州市消防局訓練研修センターで「令和元年度集団救急救助訓練」がありました。訓練には医療機関3チーム、北九州市消防局の指揮隊、消防隊、救助隊、救急隊などの各機関と参加しました。当院からはDMATとして、医師、看護師、業務調整員を含む5名が参加しました。

今回の訓練内容は、多数の傷病者を含む大規模な交通事故を想定して行われ、各機関と連携を図りながら、指揮命令系統及び情報の集約、トリアージ能力の向上、各隊との連携を図ることができました。

今後も、積極的に訓練に参加し災害拠点病院のDMAT隊員として地域の安全を守ることができるよう日々精進していきたいと思ひます。



## つばさ保育所 完成！



4月に病院職員対象の院内保育所が新築開所されました。

八幡病院敷地に隣接しており、送迎用駐車場と広い園庭が整備されています。木造1階建てでオール電化、全室に床暖房とエアコン完備。天井の一部は吹き抜けになっており、自然の光を取り込み明るく、木のぬくもりも感じられる室内です。セキュリティーも万全で、安心して子どもを預けることができます。



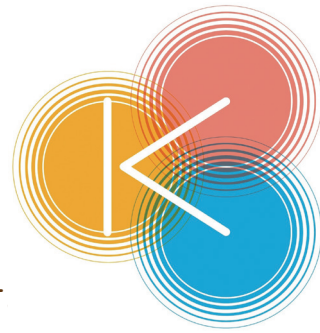
# 北九州市立病院機構のシンボルマークができました

地方独立行政法人 **北九州市立病院機構** を構成する

- ・北九州市立医療センター
- ・北九州市立八幡病院
- ・北九州市立看護専門学校

3つの組織が連携し合い、拡がってゆくイメージを円と波紋で表しています。

また、イニシャルの「K」はそれらをつなげる役割を表しています



## 新任スタッフの紹介

よろしくお祈いします



リハビリテーション  
技術課

森部 凌我  
もりべりょうが



リハビリテーション  
技術課

谷川 凌平  
たにかわりょうへい



リハビリテーション  
技術課

徳永 京香  
とくなが きょうか



栄養管理課

秀島 尚子  
ひでしま ひさこ



栄養管理課

小林 祥子  
こばやし しょうこ



栄養管理課

中尾 明奈  
なかお あきな



放射線技術課

岩佐 美里  
いわさ みり



放射線技術課

小野 修平  
おの しゅうへい



薬剤課

花桐 由佳子  
はなぎり ゆかこ



薬剤課

篠原 奈々  
しのはら なな



薬剤課

緒方 愛乃  
おがた あいの



薬剤課

每熊 里奈  
まいくり なな



臨床検査  
技術課

梶原 春菜  
かじわら はるな



臨床工学課

臼木 佑太  
うすき ゆうた



臨床工学課

金丸 淳平  
かなまる じゅんぺい

集  
後記

予想もしていなかったコロナ禍で私たちの生活は一変してしまいましたが、移り行く自然の美しさに変わりはありません。まさにこの時期に咲き誇るハイドラングア(アジサイ)に癒されましょう。心穏やかに。

放射線技術課 満園 紫